



2023年4月17日

各 位

会 社 名 株式会社マースグループホールディングス
代表者名 代表取締役社長 松 波 明 宏
(コード番号6419 東証プライム市場)
問合わせ先 取 締 役 高 橋 丈 治
電 話 番 号 0 3 - 3 3 5 2 - 8 5 5 5

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月16日に公表しました2023年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2023年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 18,500	百万円 2,800	百万円 3,200	百万円 2,000	円 銭 118.77
今 回 発 表 予 想 (B)	20,300	4,100	4,700	3,200	193.50
増 減 額 (B-A)	1,800	1,300	1,500	1,200	—
増 減 率 (%)	9.7	46.4	46.9	60.0	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	15,103	1,578	2,502	1,855	110.23

2. 修正の理由

当社は、アミューズメント関連事業、自動認識システム関連事業、ホテル・レストラン関連事業を行っており、2023年3月期通期連結予想につきましては、各セグメントとも前年同期の売上実績を上回る見込みであります。

特に、アミューズメント関連事業の主要販売先であるパチンコ業界では、スマートパチンコ・スマートパチスロの市場導入に伴う周辺設備の更新需要が高まり、専用ユニットの売上が好調に推移したことから、売上高及び各利益は前回予想を上回る見込みとなりました。

ホテル・レストラン関連事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による低迷した状況が続く中、行政主導のキャンペーンや人流の緩和により需要が急回復し、売上高は前回予想を上回る見込みとなりましたが、当社グループが保有する宿泊施設において、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を慎重に検討した結果、減損損失500百万円を特別損失に計上する見込みとなりました。

以上のことから、前回公表した通期の連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。

以 上